

1 基本情報

施設名称	大阪市立北区北老人福祉センター
施設所管課・担当	福祉局高齢者施策部高齢福祉課（電話：06-6208-8054）
条例上の設置目的	高齢者に関する各種の相談に応じ、高齢者に対して、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与するとともに、高齢者の地域福祉活動を支援することを目的とする。
業務の概要	高齢者の生活に関する相談・高齢者の健康の増進及び地域福祉活動に関する情報の収集及び提供・講演会、講習会及び教養講座の開催・高齢者のレクリエーション活動の機会の提供・高齢者の地域福祉活動その他自主的活動の支援。
成果指標	①センター利用者向け実施する満足度調査で、「満足（やや満足）と回答される方」の割合 ②センターの延べ利用人数 令和2年度～令和4年度の年間利用人数の平均以上 ③センターの登録人数 令和2年度～令和4年度の年間登録人数の平均以上
数値目標	①85.6%以上(26ある老人福祉センターで実施(令和2年度～令和4年度)したアンケートの平均) ②11,652人以上（当センターの令和2年度～令和4年度の年間利用人数の平均） ③323人以上（当センターの令和2年度～令和4年度の年間登録人数の平均）
指定管理者名	社会福祉法人大阪市北区社会福祉協議会
指定期間	令和6年4月1日から令和11年3月31日
評価対象期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	満足（やや満足）と回答される方の割合	センターの延べ利用人数	センターの登録人数
数値目標	85.6%	11,652	323
年度実績	81.3%	18,645	381
達成率	95.0%	160.0%	118.0%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	18,645	17,827	818

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	18,838,000	19,187,000	0	—
	計画	18,838,000	19,187,000		
利用料金収入	実績	0	0	0	—
	計画	0	0		
その他収入 (自主事業収入)	実績	117,252	19,200	-382,748	夏季猛暑による参加者の減
	計画	500,000	300,000		
合計	実績	18,955,252	19,206,200	-382,748	—
	計画	19,338,000	19,487,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	12,791,400	13,190,973	-1,438,600	法人として人件費等の事業経費の抑制のため
	計画	14,230,000	14,100,000		
物件費	実績	5,744,641	4,722,459	636,641	備品類老朽化及び災害対策のため、器具備品費の増
	計画	5,108,000	5,387,000		
その他事業費 (自主事業支出)	実績	0	0	0	—
	計画	0	0		
合計	実績	18,536,041	17,913,432	-801,959	—
	計画	19,338,000	19,487,000		

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
アンケート調査で「満足（やや満足）と回答される方」の割合	95.0%	B	講座・イベントなどの定員数を増やしたり、男性利用者の増加に向けた取り組みを実施したり等、工夫しながら実施していく中で、本市が定める水準を概ね達成している。
センターの延べ利用人数	160.0%	S	講座・イベントなどの定員数を増やしたり、男性利用者の増加に向けた取り組みを実施したり等、工夫しながら実施していく中で、本市が定める水準を大幅に超える成果があった。
センターの登録人数	118.0%	A	講座・イベントなどの定員数を増やしたり、男性利用者の増加に向けた取り組みを実施したり等、工夫しながら実施していく中で、本市が定める水準を超える成果があった。

（2）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・再生紙利用の実施。 ・比較見積調達による経費節減。 ・こまめな節電及び空調管理の実施。	B	施設の老朽化による維持管理コストの増加があったが、再生紙利用や節電など、市費の縮減に努めた。

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	・建築物や設備の法定点検を適切に行っている。 ・消防・災害避難訓練を複数回実施することにより利用者の安全管理を図っている。
事業計画の実施状況	B	・高齢者の自主的な活動支援として「キタロー一茶屋」を再開し、ボランティアの申込者の増加や、地域組織との協力で、アウトリーチ事業の拡大など工夫しながらセンター運営に努めている。
施設の有効利用	B	・大学からの実習生や看護専門学校実習生の受け入れを行なうとともに、北区社会福祉施設連絡会や北区リハビリテーション連絡会などの地域関係団体等と連携している。
社会的責任・市の施策との整合性	B	・個人情報保護規定等を定め、個人情報の保護を行っている。 ・環境保護対策として、再生紙や裏面利用などに努め、省エネルギー対策及びリサイクルを促進した取組を行っている。

5 利用者ニーズ・満足度

（1）調査方法

センター利用者に対してアンケート調査を実施

（2）回答者237人（未記入者含む）

（3）質問項目

ア 基本的な事項（年齢、居住区等）

イ 満足度

ウ 電子機器等で学びたい内容、やりたい活動

（4）結果

・総合満足度において、満足（やや満足）と回答される方が81.3%となっており、利用者の満足度は非常に高い。

6 外部専門家意見

- 事業報告書について、PDCAを踏まえ、一定改善は見られるものの、C（成果と課題）・A（改善策）を事業ごとに書く等、より詳細な分析をしていただきたい。また、より細かく分析・表現して、なぜ良い結果となったのか、今後どうするのかといった内容を記載していただきたい。
- おもちゃ病院の取り組みは、世代間交流の取り組みとして評価できる。引き続き実施されるとともに、その他では体操系が多いなど、北区北老人福祉センターの特色が見られるので、これを生かした取り組みを強化していく、もっと広くアピールしていただきたい。
- 商業地という特性から、利用者を増やすためにも、大型マンション等の自治会に働きかけ、センターだより配布数を増やすよう検討していただき、幅広く老人福祉センターを知ってもらえるよう工夫していただきたい。
- 良い取り組みはされているが、センターが企画・実施する「トップダウン」に偏っていると考えられるため、利用者が企画・実施し、センターがそれをサポートするような「ボトムアップ」の取り組みをぜひ検討していただきたい。
- 満足度が目標値を超えていた理由として、男性利用者、特に団体の利用者の減少が要因と分析し、リピータの方を増やしていきたいと述べていた。1人の人が毎日来館というケースももちろん大切だが、より多くの人が週1・2回来館するといったように、「もう一度来たい」環境を作ることも大切である。その中で、利用者同士のつながりが増え、なんでも相談しやすい関係が生まれてくると考えられるため、検討していただきたい。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	利用者満足度は成果指標を下回ったが、利用者の意見を取り入れるなど工夫しながら実施していく中で、利用者数、登録者数は事前に設定した目標を達成した。
管理経費・市費の縮減	B	事業計画に基づき、効率的に管理運営を実施。
管理運営の履行状況		
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	高齢者自らが地域福祉の担い手となるよう、ボランティアグループの活動を支援するなど、人材育成を意識したセンター運営を行っており、継続して取り組んでいただきたい。
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	本市が期待する管理運営を行った。